

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和2年1月解析分)

1 今月のトピックス

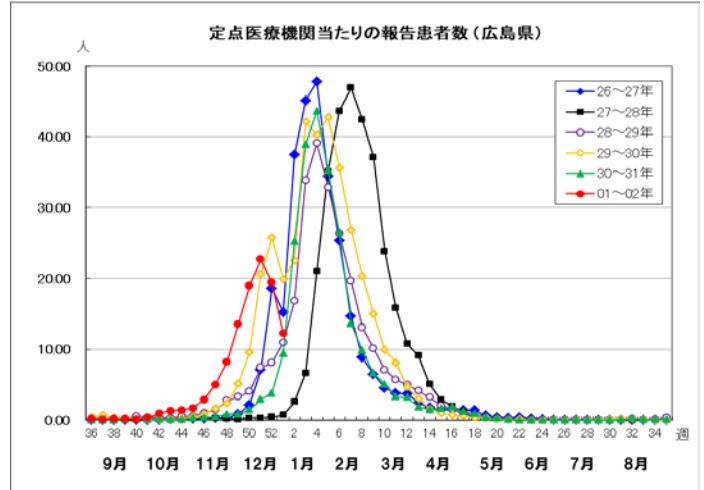
(1) インフルエンザの流行状況について

警報発令中!!

令和元年第50週（12月9日～12月15日）の定点医療機関からの報告患者数が、北部保健所管内で警報開始基準値（定点当たり30）を上回り、インフルエンザの流行が本格的になったと考えられたため、令和元年12月19日、県内に「インフルエンザ警報」を発令しました。

昨シーズンより、4週間早い発令となります。

例年、1～2月頃、定点医療機関からの報告患者数がピークを迎える傾向にありますので、次の注意点を参考にいただき、感染予防、流行拡大防止の徹底をお願いします。



インフルエンザを予防するための注意点

- こまめに、流水と石けんで“手洗い”を励行しましょう。
- 咳エチケットを守りましょう。
 - ・咳・くしゃみの症状がある場合は、人にうつさないためマスクを着用する。
 - ・咳・くしゃみの際は、ハンカチなどで口や鼻を覆い、周りの人から顔をそむけて1m以上離れる。
 - ・鼻汁・痰などを含むティッシュなどは、すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。
- 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度（50%～60%）を保ちましょう。
- 人が集まる場所への不必要な外出は避け、出かけるときは、マスクを着用しましょう。
- 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

特に基礎疾患（腎臓疾患、心臓疾患、呼吸器疾患等）をお持ちの方や、妊婦、高齢者、乳幼児は、合併症や、重症化の恐れがありますので注意しましょう。



マメソウくん

咳エチケット

マスク、ティッシュ・ハンカチ、
そでなどで鼻と口をおおきましょう。



コマメちゃん

手洗い

指先、指の間、親指・手首は
特に注意して手洗いをしましょう。



最新の発生状況等については、広島県のホームページを御覧ください。



広島県 インフルエンザ 流行

検索

(2) 感染性胃腸炎の流行状況について

定点医療機関から報告患者数が11月の1,245人から12月は2,057人と急増しました。

感染性胃腸炎は、冬季に流行のピークがみられるノロウイルスやロタウイルスなどによる感染症で、「人から人へ感染する場合」と「二次汚染した食品から感染する場合」があります。

特に、ノロウイルスは、非常に感染力が強く、施設内等では感染が拡大し、多くの方が罹患する傾向があることから、健康被害を受けやすい高齢者施設、保育園や幼稚園などでは、感染予防及び流行拡大防止の徹底をお願いします。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和元年12月分(令和元年12月2日～令和元年12月29日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	8,583	18.66	6.18	↑	10	ヘルパンギーナ	17	0.06	0.06	↘
2	RSウイルス感染症	112	0.39	1.21	↘	11	流行性耳下腺炎	27	0.09	0.42	↘
3	咽頭結膜熱	261	0.91	0.48	↗	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	522	1.81	2.41	↗	13	流行性角結膜炎	52	0.68	0.81	↗
5	感染性胃腸炎	2,057	7.14	10.30	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	87	0.30	0.61	↗	15	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.02	
7	手足口病	71	0.25	0.47	↘	16	マイコプラズマ肺炎	9	0.11	0.30	↘
8	伝染性紅斑	136	0.47	0.29	↗	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	80	0.28	0.37	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.04	0.07	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和元年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	67	2.91	2.05	↘	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	60	2.86	3.67	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.00	0.80	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	0.14	0.37	
21	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.46	↘	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.02	
22	淋菌感染症	22	0.96	0.71	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 インフルエンザ (4.47 → 18.66)
○急減疾患 なし

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↘	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	27	結核(27)[西部保健所(3),西部東保健所(3),東部保健所(2),北部保健所(1),広島市保健所(5),呉市保健所(3),福山市保健所(10)]
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症(2)[広島市保健所(2)],パラチフス(1)[呉市保健所(1)]
四類	6	つつが虫病(5)[東部保健所(2),広島市保健所(1),福山市保健所(2)],日本紅斑熱(1)[東部保健所(1)]
五類	52	アメーバ赤痢(3)[東部保健所(1),広島市保健所(1),呉市保健所(1)],ウイルス性肝炎(1)[広島市保健所(1)],カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)[広島市保健所(1)],ジアルジア症(1)[広島市保健所(1)],急性脳炎(5)[東部保健所(1),北部保健所(1),広島市保健所(2),呉市保健所(1)],劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)[広島市保健所(3)],後天性免疫不全症候群(1)[福山市保健所(1)],侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)[東部保健所(1),広島市保健所(1)],侵襲性肺炎球菌感染症(2)[広島市保健所(2)],破傷風(1)[呉市保健所(1)],梅毒(7)[西部東保健所(1),広島市保健所(3),福山市保健所(3)],百日咳(25)[西部保健所(1),西部東保健所(11),北部保健所(1),広島市保健所(9),福山市保健所(3)]